

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名	夏休み恐竜教室 「ティラノサウルス、トリケラトプスを作ろう！」			担当課 施設名	( 北部会館市民文化ホール )
総合計画 該当項目	章	2	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(6)-①、(8)-①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ <b>継続</b>	事業開始年	平成26年度	実施回数	2
日時	平成29年8月6日(日) ①午前9時半～午後0時半 ②午後1時半～4時半		会場	奈良市北部会館市民文化ホール(会議室2,3)	
目的	子どもたちにとって、恐竜模型造形家 荒木一成さんの指導を直接受け恐竜模型を作ることは、専門家の技術、知識、取組まれる姿勢等に接する貴重な機会となる。				
内容	①ティラノサウルス：午前9時半～午後0時半 ②トリケラトプス：午後1時半～4時半 講師…恐竜模型造形家 荒木一成さん <要申込み>				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	120,000	120,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)	60,000	60,000
事業成果					
アンケートの集計			配布数：40	回収数：34	回収率：85%
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度	5	応募者が多く、定員を超えた場合は参加をお断りしている。 目標値：40 実績値：40		
	参加者満足度	5	アンケート結果のほとんどが大変よかったの評価であった		
	市民参画・協働の成果はあったか	5	講師と助手による指導 ホールスタッフが準備等協力、補助し、子どもたちの夏休みの思い出になるイベントになったと思う。		
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	5	テキストの準備から 講師の下準備 当日参加者が模型作成する工程は分かりやすいものであった。		
	ターゲットを意識した企画であったか	5	小学生以上という募集 親子が協力して作り上げるといった様子が多く見られた。中には一般成人だけの参加者も数人いた。		
総合評価(自動計算)			5		
参加者や協働相手からの意見		(参加者) 骨格や筋肉の付き方など本格的に教えてもらえて大満足な内容でした。  (協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	
	講師からの恐竜の骨格・筋肉の仕組や生態などの説明を聞きながら、制作。講師は制作中も各机を巡回し、全員が完成度の高い作品を作り上げることが出来る様、個々に助言・補助をします。毎年、定員を超える応募のある、人気の講座となっています。			人気の講座ということもあって毎回はがきによる参加募集が殺到。抽選によって約半数の落選者がある。事業としては赤字ということもあり、対象を子どものみにして参加人数を増やす等 内容を考えていかなければならない。	

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		キッズスペシャルコンサート Vol.9		担当課 施設名	( 北部会館市民文化ホール )
総合計画 該当項目	章	2	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)-③、(2)-①②、(6)-①、(8)-①、(9)-①
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ <b>継続</b>	事業開始年	平成21年度	実施回数	1
日時	平成29年9月23日(祝土) 午前11時~11時45分		会場	奈良市北部会館市民文化ホール(ホール)	
目的	管弦楽の音色に親しむことができる子ども向けコンサートを開催し、子どもたちの情操や集中力を育みます。				
内容	出演…かりんからん(フルート:東美和さん、ヴァイオリン:西村綾香さん、ヴィオラ:野村初葉さん、チェロ:北山悠祐さん、ピアノ:東山光雅さん) 好評により毎年一回開催。「いっしょに歌おう!演奏しよう!」や楽器紹介、手遊びコーナー、音楽昔ばなしなど、盛りだくさんなプログラムをご家族いっしょに気がねなくお楽しみいただけます。※おむつ替え、授乳コーナーあり 入場料…800円(2歳児以上有料、0歳児から入場可)※全席自由				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	236,000	236,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)	99,200	99,200
事業成果					
アンケートの集計			配布数: 122	回収数: 16	回収率: 13.1%
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度	2	祝日開催ということもあってか 参加者数が伸びなかった。 目標値: 200 実績値: 122		
	参加者満足度	4	アンケートの約94%が良かった以上の評価であった		
	市民参画・協働の成果はあったか	4	プレイヤーによる誰もが知っている選曲、みんなで歌うコーナー等 アイディアを凝らしたコンサートになったと考える。		
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	4	プレイヤーのトーク等で飽きさせないようプログラムしてくれたが毎年開催ということでマンネリの感は否めない。		
	ターゲットを意識した企画であったか	5	0歳児からの入場可ということで座敷席をセッティングして開催。		
総合評価(自動計算)			4		
参加者や協働相手からの意見		(参加者) 子どもがわかる曲が多くてよかった。子どもが音に反応したりジッと見つめたり普段とは違う反応をしていた。ホール内が暗くて怖かった。  (協働者)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標	
	子どもたちが反応しやすい選曲による生演奏という企画は子どもたちが楽しめる場としてよい企画であると考えられるが、長年開催してきたイベントのためマンネリ化しているとも考えられる。祝日開催といった日程設定も問題あったのではないかと。			子ども対象ということで長く続けていきたい事業である。継続していくためには入場料、経費等見直すことによって採算の取れる事業にする必要がある。	

事業名	平成29年度 高の原文化講座		担当課 施設名	( 北部会館市民文化ホール )	
総合計画 該当項目	章	2	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		(1)-③、(9)-③
実施形態	単発・ <b>継続</b>	事業開始年	平成17年度	実施回数	随時(19講座)
日時	平成29年4月4日(火)午前9時～ 平成30年3月29日(木)午後8時30分		会場	奈良市北部会館市民文化ホール	
目的	当館の周辺の皆様を対象に実施しています。市民の体調管理や健康増進の一助となり、それぞれのペースで健やかな生活を送っていただくための日常的ツールとなることを主眼としています。 あわせて、当講座が市民と地域をつなぐ場となり、市民同士の交流、他の文化事業への参加など、様々な波及効果を生み出すことを目指します。				
内容	地域の文化芸術振興(①親子ピクス②キッズピクス③ジュニアキッズピクス④高の原コーラス)、地域のにぎわいづくり(①手芸・ストレッチ編②押し花③日本刺繍④整体リズムヨガ⑤リズム元気体操⑥気功体操⑦ピラティス)、地域活性運営(①ウェーブ・ストレッチ・リング&ヨガ②フラダンスA③フラダンスB④フラダンスC⑤フラダンスD⑥高の原水彩画⑦ウォーキングエアロピクス⑧デューク式ウォーキング⑨ハワイアンフラ⑩ヨガ⑪英会話A⑫英会話B ⑬英会話C⑭デトックスヨガ⑮ゆる体操初級⑯ゆる体操中級⑰座式太極気功運動⑱和紙ちぎり絵⑲ストレッチ体操)				
事業費(円)					
	歳入			歳出	
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	21,212,000	21,212,000	
決算	市費(指定管理料等)	その他収入 (事業収入等)	21,399,500	21,399,500	
事業成果					
アンケートの集計		配布数:	回収数:	回収率:	
指標	評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成 果	参加者数・参加率の達成度	3	刺繍や押花等の講座はなかなか参加率が上がらないが、その時の流行もあってヨガ系の講座はキャンセル待ちが出るほどであり、前述の講座の減少分を十分補っている。 目標値: 1267 実績値: 1200		
	参加者満足度	5	文化講座についてはリピーター率が高い。講師の指導法、受講料設定についても適当と思われる、各講座それぞれ長年継続している受講生が見受けられる事からも満足度は高いものと考えられる。		
	市民参画・協働の成果はあったか	5	講師との対話の場を多く持つことによって各講座の問題点や要望を汲み取ることができていると考える。		
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	4	講師の多彩なアイデアによる指導法によって初心者からリピーターまで参加していただける講座の形になっている。		
	ターゲットを意識した企画であったか	5	子ども参加型の講座を除いては年齢・性別特に制限なく開講している。		
総合評価(自動計算)		4			
参加者や協働相手からの意見		(参加者) 仲間や知り合いが増えて楽しく参加している。珍しい講座が多く、いろいろ参加してみたい。 (協働者) 継続開催なのでたくさんの方との出会いがあり大変うれしい。スタッフの方々が準備や受付などをしてくださるおかげで気持ち良く指導できている。			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	駅からのアクセスに恵まれた環境ということもあって地域以外、広範囲の方々に参加していただけた。講座を開講する中で受講生と接する機会をこれまで以上に多く持つことを意識した。このことによって館の雰囲気アップ、講座への関心度を高めることに繋がられたと考える。参加者の口コミによる新たな受講生の開拓等 今後に繋がる動きができたものと思う。		長年継続している講座ということで 安定感はあるが、その反面マンネリ化も考えられる。講師とのミーティングの場をしっかりと持ってそういった問題に対処していきたい。スタッフが変わったこともあり、新しいアイデアを講座に注入していければ また違った展開が見えてくると考える。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		「かな作家のさまざま」展		担当課 施設名	( 奈良市杉岡華邨書道美術館 )	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2)-①②、(3)-①②③④、(4)-①④	
	基本施策 施策	2-05 2-05-01	文化振興 文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成29年度	実施回数	1回
日時	平成29年4月22日(土)～7月17日(祝・月)		会場	奈良市杉岡華邨書道美術館		
目的	奈良市杉岡華邨書道美術館条例にある当館の主たる事業(条例3条第1号及び第2号)として展覧会事業を行う。奈良市民及び観光客、書芸術愛好家に杉岡華邨作品を中心とした近現代の書を鑑賞して頂くことにより、市民文化並びに書文化振興に寄与することを目的とする。					
内容	「東アジア文化都市2016奈良市」と連携し、平成28年秋に開催した「中国書法から影響を受けた日本の漢字書家一碑学派、帖学派とその周辺」展に引き続き、現代書壇を代表する12名の物故かな作家の作品を一堂に集め紹介。					
事業費(円)						
			歳入		歳出	
予算	市費(指定管理料等)	994,000	その他収入 (事業収入等)		994,000	
決算	市費(指定管理料等)	966,084	その他収入 (事業収入等)		966,084	
事業成果						
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)			
成 果	参加者数・参加率の達成度	2	参加者数1,346人、達成度は53.8% 目標値: 2,500人 実績値: 1,346人			
	参加者満足度	3	昭和のかな書壇をけん引した尾上柴舟や現代かな書の礎を築いた中野琢南、鈴木翠軒、安東聖空、日比野五鳳、田中塊堂、桑田芭舟、宮本竹理といった錚々たる作家の作品を一堂に見られるということで観覧者の評価は高かった。			
	市民参画・協働の成果はあったか	3	出品作家12名はいずれも物故であるが、それぞれを師とする書道団体の方々に展覧会開催のため運営、広報等ご協力頂いた。			
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	4	書道文化研究者や日展会員以上の現役作家の先生方、成田山書道美術館の監修、協力を頂き、奈良市杉岡華邨書道美術館学芸員が担当することで展覧会の質の確保・向上を行った。			
	ターゲットを意識した企画であったか	3	かな書を中心とした書道愛好家をターゲットとした展覧会であったが、書道にあまり関心のない方にもご観覧頂いた。			
総合評価(自動計算)		3				
参加者や協働相手からの意見		<p>(参加者) 近現代のかな書の巨匠の作品を一堂に鑑賞できる貴重な機会だった。 (前年の)中国書法から影響を受けた日本の漢字書家展と合わせて、漢字・かなの著名な作家を網羅的に紹介されていて興味深い展覧会だった。</p> <p>(協働者) 成田山書道美術館(千葉県成田市)などが収蔵する作品による展覧会で、普段あまり見ることのできない作品が多く出展されていた。</p>				
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標			
	本展は「東アジア文化都市2016奈良市」に協賛し、平成28年秋に開催した「中国書法から影響を受けた日本の漢字書家」展と対をなす、近現代の漢字、かなの巨匠を網羅的に展覧するシリーズ展であり書道界では一様に好評をえる内容であったが、観覧者数は目標を大きく下回る結果となった。これは、少子高齢化等による書道人口の減少傾向であるとともに、出展が全て物故の作家であったため組織的な動員に繋がらなかったことや、タイトル等も書道愛好家の方々への訴求力に欠けるものであったことなどが要因として考えられる。		かな書を中心とした現代書道作品による企画展は、より質の高い作品の鑑賞機会を提供するとともに、関係団体の動員力や一般観覧者がいかに興味を持てるかなど総合的に判断する必要がある。また、少子高齢化により書道界でも年々書道人口は減少しており、長期的にはさらなる減少傾向が続くと考えられ、美術館単独の取り組みでは限界がある。書道文化全体の発展のためには教育委員会や他の文化芸術団体などと連携しつつ、書道文化のすそ野を広げる活動も重要な課題である。			

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名		書道文化講座・列品解説講座		担当課 施設名	( 奈良市杉岡華邨書道美術館 )
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)-②③、(4)-①④
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発・ <b>継続</b>	事業開始年	平成12年	実施回数	2
日時	8/19、2/24 各14時から		会場	奈良市杉岡華邨書道美術館	
目的	杉岡華邨の作品の特徴や制作論を実際の作品を例にしつつ解説する講座等を開催することで、書道愛好家の方に書道文化をより深く理解して頂くと共に、市民に生涯学習の一環として自己を磨く機会を持っていただき書道文化及び市民文化振興に貢献することを目的とする。				
内容	講師を招き、杉岡華邨作品についてお話しいただく列品解説講座を年数回開催する。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)	156,000	156,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)	111,370	111,370
事業成果					
アンケートの集計		配布数：77	回収数：13	回収率：16.9%	
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度	4	参加者総数159名、参加率達成度132.5%。 目標値：120名 実績値：159名		
	参加者満足度	3	アンケートによると、講座テーマについては「とてもよかった」「よかった」、講座の内容については「よくわかった」「わかった」と回答者全員が答えているので参加者満足度は高かったと考えられる。		
	市民参画・協働の成果はあったか	2	書道関係団体の方々に広報などご協力頂くなど、参画協働が行われている。		
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	3	8月の秋山英津子先生は日展会友、2月の瀬川賢一先生は大阪教育大学准教授と、講師の先生方はその分野の専門家の方に依頼し質の確保を行っている。		
	ターゲットを意識した企画であったか	3	参加者は書に関心の高い方々、特に列品解説講座はかな書に興味のある方々に絞られている。		
総合評価(自動計算)		3			
参加者や協働相手からの意見		<p>(参加者) 「紙と墨と筆について知りたい」といった今後の講座についての希望があった。</p> <p>(協働者) 杉岡華邨の造形芸術だけでなく、料紙や表具といった新たな視点での魅力を広く伝える機会となった。</p>			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	列品解説講座は館蔵品展開催に合わせ杉岡華邨作品の解説を行っている。華邨芸術の基本を詳しく解説してもらえるだけでなく、作品鑑賞など毎回新しい視点でのお話しが聞けるため好評をいただいている。しかし、杉岡華邨のかな作品を対象とするため、講師をお願いできる先生が杉岡作品に詳しい臨池会会員の先生方に限られるため、特定の方に負担がかかっている。		以前から奈良市杉岡華邨書道美術館に協力頂いてきた書道会派や書道愛好家の方々の満足度を維持しつつ、新たに書芸術やかな書に関心を持って下さる方々を増やすために長期的な方策を検討する必要がある。		

奈良市文化振興計画 事業評価シート(平成29年度)

事業名	書道実技講座		担当課 施設名	( 奈良市杉岡華邨書道美術館 )	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化		文化振興計画 該当項目
	基本施策	2-05	文化振興		
	施策	2-05-01	文化の振興		
実施形態	単発	継続	事業開始年	平成25年	実施回数
日時	平成29年12月2日		会場	奈良市杉岡華邨書道美術館	
目的	書の初心者でも簡単に参加できる形式で、年賀状など生活で活かせる書の実技を体験できる講座を通して、市民に生涯学習の一環として自己を磨く機会を持っていただき書道文化及び市民文化振興に貢献することを目的とする。				
内容	講師を招き、初心者でも参加できる年賀状の書き方についての実技指導の講座。基本的な年賀状の書き方についての説明のあと実際に受講者が書いたものを個別に指導していただく。				
事業費(円)					
			歳入		歳出
予算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)	23,000	23,000
決算	市費(指定管理料等)		その他収入 (事業収入等)	12,000	12,000
事業成果					
アンケートの集計			配布数:	回収数:	回収率:
指標		評価 (5点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
成 果	参加者数・参加率の達成度	1	参加者総数9名、参加率達成度45%。 目標値: 20名      実績値: 9名		
	参加者満足度	3	参加者数は目標よりも低くなっているが、毎年参加しておられる方もあり、満足度は高いと考えている。		
	市民参画・協働の成果はあったか	2	外部の講師のご協力により開催している。		
	質の確保・向上につながる工夫がなされたか	3	講師は毎年書の専門の先生(平成29年度は日展会員の方)に依頼している。		
	ターゲットを意識した企画であったか	3	概ね市内在住の書に興味関心の有る方にターゲットは絞られている。		
総合評価(自動計算)			2		
参加者や協働相手からの意見		(参加者) 杉岡華邨先生が書いた年賀状など貴重な資料をお手本に、実際に年賀状を書くという、とてもいい体験ができた。  (協働者)			
総括	評価年度の状況		改善案・次年度以降の目標		
	施設の会場が非常に狭く、また丁寧な指導を行うために受講者数は各回10名の2回で計20名とかなり少数となっている。告知が比較的早い時期となったことや3年続けて同じ講師の先生をお願いしていたこと、また直前に欠席者が出たため参加率が低下したと考えられる。		講座回数を増やす、年賀状以外の実技やもっと基礎の講座を希望する意見もあるが、施設の状況や講師の先生方の負担等も考えると現状を維持しつつ、満足度の高い講座となるよう内容の充実を検討していきたい。		